

予 算 要 求 資 料

令和 8 年度当初予算

支出科目 款：衛生費 項：保健予防費 目：精神保健費

事 業 名 入院者訪問支援事業費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

健康福祉部 保健医療課 精神保健福祉係 電話番号：058-272-1111(内3313)

E-mail：c11223@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 4,235 千円 (前年度予算額： 4,185 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	4,185	2,092	0	0	0	0	0	0	2,093
要求額	4,235	2,117	0	0	0	0	0	0	2,118
決定額									

2 要 求 内 容

(1) 要求の趣旨(現状と課題)

精神科病院に入院中の患者は、本人の意思に基づかない入院形態で入院している場合も少なくなく、孤独感や自尊心の低下が顕著な場合がある。特に面会交流の機会が途絶されやすい市町村長の同意による医療保護入院が、県内において年間60件程度あり、医療機関外の支援者が病院に訪問し、面会交流の機会を確保することが患者の人権擁護の観点から極めて重要である。

(2) 事業内容

訪問支援員を精神科病院に派遣し、支援対象者に対して必要な情報提供等を行うため、下記事業を実施する。

- (1) 訪問支援員等の選任・派遣
- (2) 事業の周知
- (3) 会議の開催(推進会議・実務者会議)

(3) 県負担・補助率の考え方

国1/2、県1/2

地域生活支援事業等補助金（地域生活支援促進事業）

(4) 類似事業の有無

無

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
報償費	179	会議委員への報償費
旅費	136	会議参加にかかる費用弁償及び業務旅費
需用費	14	事業実施にかかる消耗品費等
役務費	10	事業実施にかかる通信運搬費等
委託料	3,861	業務委託
使用料	25	会議開催のための会議室使用料
負担金	10	研修参加費
合計	4,235	

決定額の考え方

4 参 考 事 項

(1) 各種計画での位置づけ

第4期岐阜県障がい者総合支援プラン

事業評価調書（県単独補助金除く）

☐ 新規要求事業

☒ 継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか

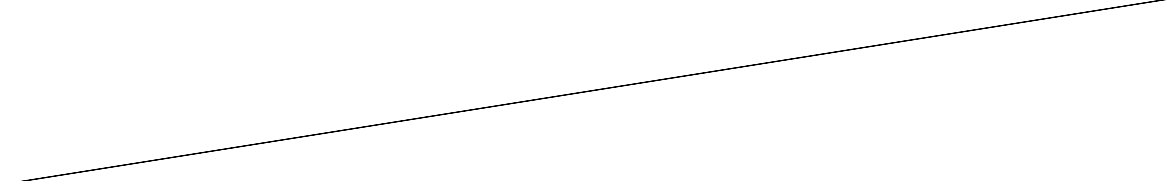
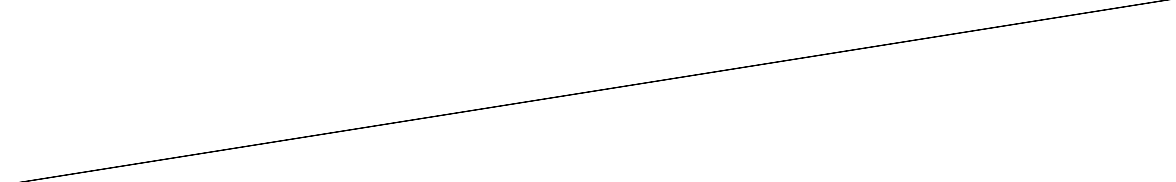
孤独感や自尊心の低下が顕著な場合がある精神科病院に入院している患者が入院中若しくは退院後にその人らしく生活できるよう、精神科病院への訪問支援をとおして、精神障がい者の権利擁護を図る。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (R5)	R6年度 実績	R7年度 目標	R8年度 目標	終期目標 (R11)	達成率
入院者訪問支援員養成者数（延べ）	0人	13人	12人	14人	20人	65%

○指標を設定することができない場合の理由

（これまでの取組内容と成果）

令和4年度	 <p>指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %</p>
令和5年度	 <p>指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %</p>
令和6年度	<ul style="list-style-type: none"> ・ポスターやリーフレットを作成し事業周知を図った。 ・県内精神科病院や市町村へ事業について説明を実施。 ・入院者訪問支援事業訪問支援員養成研修を開催（9月） ・訪問支援受付及び支援員の派遣（延7件訪問） ・入院者訪問支援事業実務者会議を実施（3月） <p>指標① 目標：10人 実績：13人 達成率：65 %</p>

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

・事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) 3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない	
(評価) 3	孤独・孤立に陥りやすい精神科病院に入院中の患者を医療機関外部の支援者が訪問することで、面会交流の機会を確保することが患者の人権擁護の観点から極めて重要であり、必要性が高い。
・事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) 3：期待以上の成果あり 2：期待どおりの成果あり 1：期待どおりの成果が得られていない 0：ほとんど成果が得られていない	
(評価) 2	訪問支援員の訪問支援が円滑に実施できるよう訪問支援員の養成、訪問支援員の派遣調整スキームの準備などを進められている。
・事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか) 2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている	
(評価) 1	精神科病院や市町村と連携し、対象者に対して周知するなど事業の効率化を図っている。

(今後の課題)

・事業が直面する課題や改善が必要な事項 引き続き、精神科病院などの関係機関との調整や事業の周知を行う必要がある。
--

(次年度の方向性)

・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 精神科病院に入院中の患者の人権擁護の観点から、精神科病院に訪問支援員を派遣し、入院患者の体験や気持ちを丁寧に傾聴していく。
--

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント 又は事業名及び所管課	
組み合わせる理由 や期待する効果 など	